

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人藤聖母園 放課後等デイサービス事業所やっほ〜クラブ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○支援をするスペース(個室・ホール)が複数あることで、活動内容が設定しやすい。	・広いスペースがあることで、体を使ったダイナミックな活動(運動・ダンス等)設定することができる。 ・場所によって活動プログラムの内容を工夫している。	・自己選択をする機会から一人ですることができる部分を増やす内容にしていく。 ・将来に向けて、余暇に繋がる支援の内容を増やしていく。 ・外部講師を依頼するなど、活動プログラム内容の幅を広げていく。 ・アセスメントに基づき、一人ひとり発達段階、特性に応じた内容にしていく。
2	○地域資源を活用する機会が多い。	・公共施設、公共機関を活用する活動を企画している。 ・地域で行われるイベントの情報確認、親子で参加できるように設定している。 ・派遣講師、講演を活用して、子どもたちが参加できる機会をつくる。	・公共施設、公共機関と地域資源を活用する機会を増やしていく。 ・年齢や性別に合った活動体験を設定をしていく(男子会・女子会)。
3	○隣接する同法人の事業所(デイサービス、こども園、障害者施設、老人ホーム等)と交流する機会がある。	・交流を図る機会として、ダンス等発表する場を企画をしている(交流に向けて活動の中で取り入れ、準備している)。	・交流する回数が少ないので増やしていく。 ・次年度の計画で広げる機関を組み入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○事業所で取り組んでいる支援内容について、保護者へ伝えきれていない部分がある。	・支援について、活動内容についてはメールやお便り等で発信しているものの、伝えきれていない部分がある。 ・保護者が参加する行事では参加者が限られてしまう。	・保護者が参加する行事について、保護者が興味を持つ内容等を検討していく。 ・支援内容を理解してもらえるよう、SNS等を活用しながら、保護者へ情報を配信していく。
2	○他機関(相談支援事業所、学校、行政機関等)と連携を図っているものの、回数が少ない。	・相談支援事業所との連携はある程度図れているものの、支援時間の関係で、学校、行政機関と集まる機会が少ない。	・面談以外で電話やオンラインを活用しながら、連携を図る機会を増やしていく。
3	○集団活動に重点を置いており、個別で支援する機会が少ない。	・活動プログラムの設定の仕方。 ・送迎等で個別活動を実施する際、人員が不足する場合がある。	・集団活動と個別活動のバランスがとれるよう、活動プログラムを設定していく。

事業所名 放課後等デイサービス事業所やっほ〜クラブ

公表日 2026年2月27日

利用児童数

18名

回収数

18/18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	3				こどもの特性等、より理解を深める為に研修会等を通じて、職員一人一人の専門性を高めていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1		1		支援プログラムを公表した際は、広報等で伝えていき、事業所内のわかりやすい所へ掲示していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17				1	活動プログラムの内容について分かりやすくご理解してもらえるように、配信の仕方について検討していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17	1				公共施設、地域で企画しているイベントに積極的に参加して、交流する機会を増やしていきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18					家族支援プログラム、研修会を実施する際は保護者の方に内容等含めて、ご理解を得られた上で進めていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18					こどもの状況について、普段から様子を伝え合う(面談・SNS等)環境を整備して保護者と共通理解を深めていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				1	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	2			1	ご家族が参加できるイベントを設定してありますが、内容、回数等を検討しながら交流できる機会を増やしていきます。
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1				年2回面談の機会を設定しておりますが、その他子育て等に関する悩み、相談、申し入れがあった際には都度対応してまいります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18				2~3か月おきに避難訓練を実施していますので、引き続き実施した際は広報、SNS等でお伝えしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17		1		事故等(怪我等)が発生以外でも状態に変化があった際は速やかにその日にお伝えしていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	2			子どもが安心感を持って通所できるように配慮していき、保護者の方々のご意見も取り入れていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	2			子どもが楽しみで通える環境、プログラムを設定していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1			支援内容について子ども、ご家族に分かりやすいよう、提示、情報発信していきます。

事業所名	放課後等デイサービス事業所やっほ〜クラブ		公表日	2026年2月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	6		・個室・ホールと活動スペースがあるので、用途にあった活動を設定しています。	・集団活動と個別活動のバランスがとれるよう、活動プログラムを設定していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・配置基準に沿った職員数と様々な経歴を持った職員がいるので、アイデアを出し合いながら、臨機応変に対応しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・利用児が落ち着いて過ごせよう環境設定しています。活動内容をホワイトボードにイラスト、文字入りで掲示したりとこども達にも分かりやすいように、視覚的に表示するなど工夫をしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・空気清浄機、換気窓を活用しながら心地よく過ごせる環境を設定しています。 ・職員による掃除以外にこども達と一緒に掃除を行う機会を設定して、みんなで過ごしやすい場作りをしています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個室以外に活動に応じてパーティションや仕切り板を活用して、個別のスペースを作り工夫をしています。 ・利用児本人から訴えがあったとき等、必要に応じて使用許可をしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・支援プログラムの振り返りやサービス評価、アンケートの記入をお願いし、業務改善に繋がっています。	・広く職員が参画でき、意見を反映されていくようにしていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者からの意向を把握するために、サービス評価の他に支援等についてのアンケートを実施して、その内容を業務改善に繋がっています。	・定期的に保護者が参加できる会や親子で参加できる行事を企画していきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・会議以外にも毎朝ミーティングを行い、共通理解しています。	・決定事項を伝えるだけでなく、多くの職員の意見を聞き、業務改善につなげていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		・第三者委員会以外にも外部評価を受ける機会を検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・職員の資質向上の為に可能な限り参加できるような時間帯を設定して、学びの機会を確保しています。	
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				個々に寄り添って計画を立てているものの、計画通りに支援できない場面もあるので、職員間で情報共有をして優先順位を立てて進めていきます。

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			・ こどもの行動状態に応じたアセスメントツールを活用して、支援に反映させています。 ・ ツールを利用しつつ、本人や保護者とも共通理解も図り、支援や計画に活かしていきます。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			・ 週案、通年で行う活動もチームで打ち合わせをして立案しています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			・ 同じ活動でもこども達の反応、技量を見ながら内容を調整しています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		・ 一日のスケジュールの中で個別場面、集団場面を設定しています。 ・ 集団活動が苦手とするこどもに対しての支援についてチームで話し合い、共通理解をしていきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			・ 支援前の打ち合わせの他に、参加できなかった職員も見わかるようにホワイトボードに支援内容、役割分担、スケジュールを書くなどわかるように工夫しています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		・ 送迎や勤務形態により、その日は難しいが翌日には情報共有をしています。 ・ 緊急性の高いことに関してはSNS等を通じて情報共有をしています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		・ 日々の記録以外に、一か月で記録をまとめ、検証・改善に繋げるようにしています。 ・ 記録のまとめをより日々の支援に反映させていくようにしていきます。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1		・ 4つの基本活動を組み合わせた支援プログラムを設定しています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	2		・ 活動場面でこどもが自己選択できる場面を設定して支援をしています(遊びの選択やお出かけでの行き先、外食体験でのメニュー選び等)。 ・ 自己選択ができるように提示の仕方については、個々の状況に合わせて進めていきます。

26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・関係機関と連携を図る体制を整えています。	・それぞれ支援時間が異なり、会議時間の設定が難しいことがあるので、連携のやり方について検討していきます。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・連絡調整の部分で行き違いのないよう、こちらからも連絡をして確認するようにしています。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			・依頼があった場合に情報提供していきます。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・同法人内の専門職員からペアトレ等、研修を受ける機会を設けています。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	・地域で開催しているイベントに積極的に出向き、参加する機会を設けています。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			・園長、管理者以外でも参加するようにしていきます。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・年に2回面談の機会を設け、デイサービスの様子や家庭、学校での様子に情報共有しながら、共通理解をしています。	・面談以外でも保護者からの要望、事業所での状況を共通理解を図りたいときは都度、面談の機会を設けていきます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・家族が参加できる研修の機会や情報共有を図る場を設定しています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・運営規定、支援プログラム、利用者負担等について説明会を実施して伝えています。	・説明会に参加できない保護者に対しては個別で伝えていきます。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・年2回面談する機会を設定していますが、必要に応じて、面談ができる体制を整備しています。	

保護者への説明等

40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・親子で参加できる行事を年2回企画して、交流する機会を設けています。	・参加する保護者が決まってしまうので、多くの方が参加できるように設定していきます。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情があった場合に迅速に対応できる体制を整備しています(意見投書箱の設置等)。	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・SNS等を活用しながら、こどもや保護者に対して発信しています。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報の取り扱いについて、会議等で留意するように周知しています。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・情報共有を図るためにホワイトボードや掲示板、お便り等を活用しながら伝達しています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・広報誌を隔月で配布して、情報を発信しています。 ・行事(祭り・作品展示会)を開催する際に地域にお知らせをしています。	

非常時等の対応

46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		・マニュアルを策定して、説明会で保護者に周知しています。 ・避難訓練を定期的の実施しています。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・案件があった際は会議で共有して対応についてルール決めをしています。	・ヒヤリハットがあった際に職員間で共有するシステムはできていますが、全職員が提出できるように書式等含めて検討していきます。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修や未然防止の為に虐待防止委員会で話をして、職員会議で周知するようにしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・身体拘束委員会を設置していますので、案件が上がった際に計画を立てて、保護者の方に説明、了解を得た上で進めています。	